

目的・目標

クリエイターの活動環境の向上、継続的な収益構造の構築を目指し、下記の課題に対し5年を掛けて取り組む。

- ◆ 創作活動におけるビジネス意識の向上 (法律に基づく自己権利の保護意識醸成、働きやすい環境づくり)
- ◆ 海外展開の実践と継続支援、活動データ収集
- ◆ 世界同時展開の可能な継続的収益システム(多言語対応総合プラットフォーム)の企画・設計

(区分・分野)
マンガ

(対象となる職種)
漫画家、海外向けエージェント

(育成人数)
6名/3年 *複数年継続4名、新規2名を想定

概要

海外での催事の直接参加および周知、国際間交渉での注意点、法務・労務の基礎を実務経験者より伝え、より多くの漫画家、またその代理交渉を可能とするパートナーエージェントの育成を図り、ニーズのマッチングを可能とする体制を構築する。

3年目までの取組

初年度：海外催事(NY、サンディエゴ等)での調査・出展およびクリエイターにおける法務・労務の基礎講座(年4回程度)を実施。
 2年度：企画の立ち上げから作品としての完成までのタームが長いことを踏まえ、海外出版社との企画立ち上げ、打合せを2年目にて行い、国内同様の実務の中から経験を得る。
 3年度：漫画家においては制作期間として設定。企画を作品化する合間に(場合により終了後)、自らの経験を参考に漫画家によるエッセイコミック等での取り組み周知ツールを並行して設計する。(レポートは冊子もしくは電子書籍等での頒布/販売も視野に含む)



成果目標 (見込)	目標値
コンテンツ創造・海外展開のための実践的な育成プログラムの開発・実装数	3年目：4件 5年目：4件
国内外の教育機関・専門機関・企業・団体等との連携数	3年目：5件 5年目：5件
育成プログラムの参加者が世界的に認知されている海外の芸術祭・文化施設等へ出品・参画し高い評価を受けた件数	3年目：4件 5年目：8件
育成プログラムの実証に参加した人数	3年目：6人 5年目：8人

5年目までの取組

4年度：制作された作品の一般での評価等を確認する。さらに、海賊版サイト、スキャンレーション等による著作権侵害の減少を目指すため、制作作品の公開に向けて全世界同時公開が可能な、多言語マルチプラットフォーム構築を開始し、翌年度までの完成を目指す。
 5年度：担当作家、パートナーエージェントを講師として、依頼のある教育機関等へ派遣し、海外展開での取り組みを職業訓練の一環として若年世代に伝える。



中核となる指導者等

柳 亨英 (日本) 編集者、海外契約エージェント
 アスキー、メディアワークスでの勤務を経てフリーランスとして活動。マーベル・DC社のコミックに精通しており、映画パンフレットの執筆や特集記事でも解説を多数担当。YouTube、ラジオ等の出演も多い。2024年4月入社、同年6月取締役就任



国際的な場での実践の取組例

海外コミック出版社への直接訪問 (NY、LA、パリ等) (2年目以降)

日本のクリエイターへのニーズ、業務依頼における要望ヒアリングのほか、企画進行中の具体的な打合せ等に対面で参加し、作品を制作する上での意思疎通を図る



Global Opportunities for Manga Artists (GOMA)

